

7月梅雨前線豪雨による被害状況等について（第10報）

これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

下線部については前回からの変更箇所

平成 1 5 年 7 月 2 4 日
7 時 0 0 分 現 在
内 閣 府

1. 大雨の概況（気象庁情報）

日本列島上の梅雨前線の活動は、7月後半に入ってから活発化した。18日（金）は西日本の所々で日雨量100ミリを超える大雨となった。

梅雨前線は、九州北部に停滞し、19日（土）未明には大宰府で1時間104ミリを記録するなど、福岡県を中心に激しい雨が降り、日雨量は300ミリに達した。四国でも日雨量で400ミリに達する大雨となった所があった。その後も梅雨前線は、九州北部に停滞を続け、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動がさらに活発化し、19日（土）の夜半から20日（日）の明け方にかけては、水俣の1時間81ミリをはじめとして、長崎・熊本・宮崎・鹿児島各県を中心に局地的に非常に激しい雨が降り、日雨量は200ミリを超えた。21日（月）には、東日本から西日本にかけての広い範囲で、大気的不安定な状態が続き、福島・新潟・大分・長崎各県で日雨量100ミリを超える大雨となった。

これまでの雨量実況

・1時間雨量

福岡県	大宰府	104ミリ（19日4時50分）
	飯塚	80ミリ（19日3時）
熊本県	水俣	81ミリ（20日1時50分）
大分県	前津江村釈迦岳	81ミリ（21日4時）
佐賀県	相知町八幡岳	70ミリ（19日5時）
長崎県	諫早市五家原岳	63ミリ（20日7時）
長崎県	福江	56ミリ（21日9時）
山口県	豊田町西市	51ミリ（21日1時）

・総雨量（19日00時～21日24時）

宮崎県	えびの市加久藤	431ミリ
福岡県	太宰府	340ミリ
	飯塚	300ミリ
長崎県	諫早市五家原岳	291ミリ
	小浜町雲仙岳	269ミリ
大分県	前津江村釈迦岳	287ミリ
佐賀県	太良町多良岳	272ミリ
熊本県	水俣	263ミリ

2. 主な河川の状況（国土交通省調べ：7月22日7時30分現在）

・計画高水位を超えた河川

地方整備局等名	水系名	河川名	備考
九州	遠賀川	穂波川	現在は超えていない

・危険水位を超えた河川

地方整備局等名	水系名	河川名	備考
九州	遠賀川	穂波川	現在は超えていない
		遠賀川	現在は超えていない

・警戒水位を超えた河川

地方整備局等名	水系名	河川名	備考	
中国	江の川	江の川	現在は超えていない	
九州	嘉瀬川	六角川	牛津川	現在は超えていない
		嘉瀬川	嘉瀬川	現在は超えていない
		筑後川	城原川	現在は超えていない
	遠賀川	松浦川	松浦川	現在は超えていない
		遠賀川	遠賀川	現在は超えていない
		彦山川	彦山川	現在は超えていない
	川内川	穂波川	穂波川	現在は超えていない
		川内川	川内川	現在は超えていない
			羽月川	現在は超えていない

3. 避難の状況（消防庁調べ：7月23日20時00分現在）

(1) 避難指示

都道府県名	市町村	世帯	人数	備考
福岡県	赤池町	9	13	

(2) 避難勧告

都道府県名	市町村	世帯	人数	備考
広島県	広島市	17	52	19日11:20解除
	大野町	3	7	19日20:00解除
福岡県	北九州市	37	123	21日18:00の避難数1世帯3人
	福岡市		104	21日18:00の避難数28世帯63人
	直方市	19	39	解除
	大野城市	36	82	解除
	穂波町		114	21日18:00の避難数16人
	筑穂町		150	解除
	太宰府市	147		21日14:00解除(解除後も34人が避難継続中)
熊本県	水俣市全域	12,382	30,545	20日16:40解除(12人が避難継続中)
	芦北町湯浦地区	35	69	20日16:15解除
鹿児島県	菱刈町大山口集落	10	17	
	菱刈町前田集落	42	110	20日17:00解除
	吉松町四ツ枝	130	290	21日14:00解除
	吉松町般若寺・山下	160	390	21日7:10解除
	吉松町中津川	283	668	21日7:10解除
	吉松町川添	246	637	21日7:10解除
	横川町	6	13	21日18:00解除

4. 被害の状況

(1) 人的・住家被害(消防庁調べ:7月23日20時00分現在)

都道府県名	人的被害(人)				住家被害(棟)				
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	浸水	
			重傷	軽傷				床上	床下
岡山県									2
広島県				1			2	1	10
山口県				2			72	32	50
徳島県					1			82	241
高知県									13
福岡県	1		1	5	8	40	48	3,062	2,813
佐賀県				3			8	1	21
長崎県	1			1	2		6	2	56
熊本県	17	2	4	3	17	1	1	117	285
宮崎県									8
鹿児島県	2				1			3	49
合計	21	2	5	15	29	41	137	3,300	3,548

(主な被害の状況)

- ・ 7月19日福岡県(飯塚市、福岡市、穂波町、志免町、宇美町等)で床上浸水3,062棟、床下浸水2,813棟(7月20日昼頃までには水は引いている。)
- ・ 7月19日福岡県太宰府市三条で発生した土石流により死者1名

- ・ 7月20日長崎県琴海町形上郷の町道を走行中の軽自動車が流され死者1名
- ・ 7月20日熊本県水俣市宝川内集地区で発生した土石流により死者13名、行方不明2名
- ・ 7月20日熊本県水俣市深川新屋敷地区で発生した土石流により死者4名
- ・ 7月20日鹿児島県菱刈町前目でがけ崩れにより死者2名

(2) 土砂災害 (国土交通省調べ：7月24日7時00分現在)

- ・ 土石流11箇所 (熊本3、福岡5、徳島2、鹿児島1)
- ・ がけ崩れ62箇所 (福岡29、徳島4、山口22、佐賀1、長崎5、鹿児島1)

(3) 道路 (国土交通省調べ：7月23日17時00分現在)

- ・ 通行規制箇所

	箇所数	備考
高速自動車国道	5	7月22日11:00現在すべて解除
直轄国道	8	7月22日11:00現在すべて解除
都道府県管理国道	19	7月23日17:00現在通行規制1箇所
都道府県道	89	7月23日17:00現在通行規制23箇所
有料道路	1	7月22日11:00現在すべて解除

(4) 水道の被害状況 (厚生労働省調べ：7月23日19時現在)

- ・ 水道の断水戸数等

都道府県	延べ戸数	断水中の戸数	備考
熊本県	1,260	144	
福岡県	8,525	0	7月21日21時に復旧

(5) 通信・放送関係 (総務省調べ：7月22日17時現在)

	箇所	備考
電気通信事業者関係 (固定電話)	5局	水俣市宝川内地区以外は、22日早朝までに復旧
電気通信事業者関係 (携帯電話)	16基地局	水俣市臼原地区以外は、21日までに復旧
放送関係	11事業者、20局	20日までに復旧
ケーブルテレビ事業者関係	2事業者、2施設	19日までに復旧
郵政事業関係 (郵便局等)	5局	21日までに復旧

(6) 農林水産業関係 (農林水産省調べ：7月22日17時現在)

- ・ 被災箇所数

	箇所数
農地	434
農業用施設	246
治山施設	1
林地	97
林道	48

(6) 文教施設 (文部科学省調べ : 7月23日15時現在)

・被災箇所数

	箇所数
国立学校施設	1
公立学校施設	59
私立学校施設	
社会教育・体育、文化施設等	16
文化財等	17

5 . 政府の主な対応

(1) 災害応急体制の整備等

内閣府の対応

- ・内閣府情報対策室設置 (7月20日8時00分)
- ・内閣府企画官を団長とする内閣府情報先遣チーム3名を熊本県水俣市内へ派遣 (7月20日14時30分)

警察庁の対応

- ・警察庁災害警備連絡室設置 (7月20日7時45分)
- ・熊本県警察通信部より、九州管区機動通信隊に出動要請 (7月20日10時11分)
- ・九州管区機動通信隊、熊本県に向け出発 (7月20日12時05分)
- ・九州管区機動通信隊、熊本県警察機動通信隊と共に被災地 (水俣市宝川内地区) へ向け出発 (7月21日5時45分)
- ・九州管区機動通信隊は、熊本県警察機動通信隊と連携を図り被災地 (水俣市宝川内地区) を撮影した地上映像を警察庁及び官邸に配信 (7月21日9時47分)
- ・九州管区機動通信隊及び熊本県警察機動通信隊は、被災地 (水俣市宝川内地区) における撮影を再開し、地上映像を警察庁及び官邸に配信 (7月22日8時05分)

防衛庁の対応

- ・防衛庁災害対策連絡室を設置し、情報収集体制を強化 (7月20日8時00分)
- ・陸自西部方面隊の九州各県の部隊が情報所を開設。地方自治体等からの情報収集にあたるとともに、要請に備え初動対処部隊を待機
- ・現地のヘリコプター映像を官邸等へ配信 (7月21日13時20分、16時35分、22日11時00分)

消防庁の対応

- ・総務省消防庁災害対策室設置 (第1次応急体制) (7月20日8時00分)
- ・熊本県防災消防ヘリコプター出動 (7月20日8時50分)
- ・総務省消防庁災害対策本部設置 (第2次応急体制) (7月20日12時00分)
- ・消防庁から広域応援対策官他2人を熊本県へ派遣 (7月20日16時20分)
- ・消防庁は熊本県から災害現場の映像 (録画) を受信し、内閣府及び官邸へ配信 (7月20日20時 ~ 20時30分)

- ・ 消防庁は鹿児島県から災害現場の映像（録画）を受信し、内閣府及び官邸へ配信（7月22日9時30分～9時38分）

文部科学省の対応

- ・ 文部科学省災害情報連絡室設置（7月20日13時45分）

厚生労働省の対応

- ・ 厚生労働省被害情報収集体制（7月19日14時00分）

農林水産省の対応

- ・ 農林水産省防災課災害対策室長、林野庁治山課山地災害対策室長を現地に派遣（7月21日）

国土交通省の対応

- ・ 国土交通省警戒体制（7月19日4時20分）
- ・ 国土交通省災害対策用ヘリコプター「はるかぜ号」による現地調査を実施（7月19日、20日、21日）
- ・ 国土交通省衛星通信車を現地派遣（7月20日11時56分）現地画像を官邸及び関係機関に配信中。その他照明車等派遣。
- ・ 国土交通省砂防関係職員3名（砂防部保全課担当者1名、国土技術政策総合研究所砂防研究室2名）の現地派遣（7月20日～21日）
- ・ 国土交通省河川局防災課総括災害査定官他1名を緊急調査のため現地へ派遣（7月21日～）
- ・ 国土交通省所有の排水ポンプ車について、8台を現地に派遣（7月19日～20日）

海上保安庁の対応

- ・ 水俣市災害対策本部から要請（7月20日19時28分）を受け、第十管区海上保安本部が巡視船艇4隻及び航空機2機により海上搜索実施。
- ・ 22日巡視船艇5隻及び航空機1機により搜索
- ・ 23日巡視船艇4隻及び航空機1機により搜索予定。その他長崎県琴海町の行方不明者が海上へ流されているおそれもあることから、巡視艇1隻にて河口付近の搜索実施。24日も同勢力で搜索予定。

（2）災害対策関係省庁連絡会議の開催（7月20日15時）

下記を中心に、災害応急対策および情報収集に万全を期すことを確認。

行方不明者の搜索救助に全力をあげること。

今後も被害が拡大するおそれがあるので、関係機関は引き続き迅速かつ的確に情報の収集・伝達を行い、関係地方公共団体も含め、緊密な連携を図り、警戒態勢に万全を期すること。

これまでに生じた被害に対する応急対策等適切な対応を続け、復旧が速やかに進められるよう対応すること。

事態の推移に応じ必要があれば、今後においても災害対策関係省庁連絡会議を開催する等、関係省庁の連携を密にしていくこと。

(3) 政府調査団の派遣

- ・ 鴻池防災担当大臣を団長とする政府調査団11府省庁34名を熊本県及び鹿児島県へ派遣（7月22日）

(4) 自衛隊の災害派遣

7月19日から（福岡県への派遣）

- ・ 7月19日6:00連絡要員3名を福岡県庁に派遣
- ・ 7月19日6:15福岡県知事から陸自第4師団長に災害派遣要請
- ・ 7月19日6:50以降連絡要員を飯塚市、直方市、穂波町、小竹町へ派遣
- ・ 7月19日8:25以降第4後方支援連隊から人員約110名を宇美川へ派遣、土のう作成を実施
- ・ 7月19日9:15第4後方支援連隊から人員14名を宇美町へ派遣、給水支援を実施
- ・ 7月19日9:36第2高射特科群・第2施設群から人員約40名を飯塚市へ派遣、じ後、孤立者救助を実施
- ・ 7月19日9:55以降第2施設群・第5施設団から人員約50名を穂波町へ派遣、孤立者救助を実施
- ・ 7月19日10:00第4飛行隊からOH - 6 × 1機離陸
- ・ 7月19日13:25第4化学防護隊から人員6名を志免町へ派遣、給水支援を実施
- ・ 7月20日6:00撤収要請
- ・ 7月20日14:30福岡県知事から第2高射特科団長に災害派遣要請
- ・ 7月20日14:30第2高射特科団から人員約250名を飯塚市へ派遣、災害ゴミの収集撤去を実施
- ・ 7月21日14:27第2高射特科団から人員約20名を飯塚市へ派遣、給食支援を実施
- ・ 7月21日19:00 21日の活動を終了
- ・ 7月22日7:30第2高射特科団から人員約350名、車両約60両を飯塚市へ派遣、災害ゴミの収集撤去を実施
- ・ 7月22日19:00 22日の活動を終了
- ・ 7月23日7:30第2高射特科団から人員約350名、車両約50両を飯塚市及び穂波町へ派遣、災害ゴミの収集撤去を実施
- ・ 7月23日13:50穂波町における活動終了
- ・ 7月23日18:30 23日の活動終了

派遣規模（延べ）：人員約1,430名、車両約230両、渡河ボート18隻、航空機2機

7月20日から（熊本県、鹿児島県への派遣）

- ・ 7月20日5:20熊本地連から連絡要員4名を水俣市役所へ派遣
- ・ 7月20日7:15熊本県知事から陸自第8師団長に災害派遣要請
- ・ 7月20日7:25陸自第8師団から連絡要員2名を熊本県庁へ派遣
- ・ 7月20日7:26以降海自護衛艦「おおよど」から連絡要員3名を水俣市役所へ派遣、その後人員60名を水俣市へ派遣、救出活動を実施（20日20:00終了）
- ・ 7月20日7:35第8特科連隊から人員9名を派遣、地上からの被害状況の偵察を実施
- ・ 7月20日8:00以降第8特科連隊等から人員約190名を水俣市へ派遣、救出活動を実施

- ・ 7月20日10:30以降第8師団司令部等から連絡要員約10名を水俣市役所へ派遣
- ・ 7月20日14:00鹿児島県知事から陸自第12普通科連隊長に災害派遣要請
- ・ 7月20日14:30陸自第12普通科連隊から連絡要員3名を菱刈町役場へ派遣
- ・ 7月20日15:00第12普通科連隊から人員約50名を菱刈町へ派遣
- ・ 7月20日15:30以降第8後方支援連隊等から人員約20名を水俣市へ派遣、給水活動を実施
- ・ 7月20日19:30鹿児島県菱刈町における20日の活動を終了（熊本県水俣市においては夜間も救助活動を実施）
- ・ 7月21日7:00鹿児島県菱刈町において救助活動を開始
- ・ 7月21日9:00海自護衛艦「おおよど」（人員約120名）により水俣川河口付近の海上捜索を開始（21日19:00終了）
- ・ 7月21日9:19陸自UH-1×1機、OH-1×1機が離陸。上空からの映像の撮影（13:20から官邸へ録画配信）
- ・ 7月21日10:20鹿児島県知事から陸自第12普通科連隊長に撤収要請
- ・ 7月21日15:35陸自UH-1×2機が離陸。上空からの映像を撮影（16:30から官邸へライブ配信）
- ・ 7月21日18:00熊本県水俣市における救助活動を終了
- ・ 7月21日21:00熊本県水俣市における給水支援活動を終了
- ・ 7月22日8:00熊本県水俣市において救出活動、給水支援活動を開始（人員約200名、車両約30名）
- ・ 7月22日10:23陸自OH-1×1機が離陸。上空からの偵察を実施
- ・ 7月22日10:29陸自UH-1×2機が離陸。上空からの映像を撮影（11:00から官邸へライブ配信）
- ・ 7月22日17:00熊本県水俣市における救助活動を終了
- ・ 7月22日21:00熊本県水俣市における給水支援活動を終了
- ・ 7月23日8:00熊本県水俣市において救出活動、給水支援活動を開始（人員約120名、車両約40両）
- ・ 7月23日9:30陸自OH-1×1機が離陸。上空からの偵察を実施
- ・ 7月23日16:55熊本県水俣市における給水支援活動を終了
- ・ 7月23日18:00熊本県水俣市における救出活動を終了（24日8:00から活動を再開予定）

派遣規模（延べ）：（陸自）人員約980名、車両約280両、航空機9機
（海自）人員約180名、艦艇1隻

（5）広域応援

- ・ 警察庁において福岡県警察広域緊急援助隊42人を熊本県に派遣を決定（7月20日17時55分）
- ・ 福岡県警察広域緊急援助隊が現場（宝川内地区）に向け出発（7月21日2時45分）
- ・ 福岡県警察広域緊急援助隊42人水俣市宝川内地区に到着、活動開始（7月21日7時55分）
- ・ 福岡県警察広域緊急援助隊は、被災地において行方不明の捜索を開始（7月22日8時00分）

(6) 災害救助法関連

- ・ 福岡県飯塚市、福岡市、太宰府市及び穂波町に対し、福岡県は災害救助法の適用を決定し、避難所の設置、炊き出しその他による食品の給与等を実施（適用日7月19日）
- ・ 熊本県水俣市に対し、熊本県は災害救助法の適用を決定し、避難所の設置、炊き出しその他による食品の給与等を実施（適用日7月20日）

(7) その他

- ・ 中小企業庁は災害救助法の適用に伴い、
政府系中小企業金融機関に対して、災害復旧相談窓口設置
九州経済産業局、日本商工会議所・全国商工会連合会に対し、災害に係る
相談窓口設置
政府系中小企業金融機関に対して、災害復旧貸付の実施
を指示（7月22日14:00）